

(学年) 2 学年, (教科・科目) 工業・情報技術基礎

一斉学習・個別学習

(単元) 産業社会と情報技術

(本時のねらい)

情報技術の必要性や役割などを学び, それらに関する用語や利用方法について理解し正しく取り扱うことができる。また, 情報化社会の光と影について知り, 情報を取り扱う者として大切な事柄について説明できるようにする。

(ICT 活用方法)

情報技術に関する様々な知識や技能を得るために一人一台端末を用いて情報技術に関する用語や利用法について知る。また, 情報技術に関する光と影の部分について調べることによって自らが正しい情報の取り扱いができるようにする。

従来は単に言葉や語句を身につけるだけの学習であったが, 実際に I C T 機器を活用して授業が展開できるため, より身近なものとして体験しながら学習させる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T 活用方法
導入 5 分	・日常生活における情報の取り扱い方について確認する。	・画像を提示し事例を挙げて本時の内容を示す。	
展開 30 分	・情報の不正利用や脅威と, その対応について知る。  ・情報社会の権利やプライバシーについて知る。	・情報収集しやすいように助言し, 調べた内容をワークシートへの記入を促す。また, 対応策についても調べるようコメントし記入を促す。  ・情報における権利とモラルについてキーワードを提示し, 調べた事を発表する場を設ける。	・一人一台端末を活用して不正利用についての情報を収集する。  ・一人一台端末を活用してモラルと権利について調べる。
まとめ 5 分	・正しい情報の取り扱いや, また個人の責任について確認する。	・本時の内容を振り返りまとめる。	

(授業の様子)



一人一台端末を利用して用語を調べたり，ワークシートに書き写したり，  
一生懸命に取り組んだ。

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

新しい授業形態として一人一台端末や電子黒板を利用することで，生徒たちは視覚的にも興味や関心を持って授業に取り組んでいたと思われる。今回，一人一台端末を用いて物事を調べるといった初歩的な形式ではあったが，意欲的な態度が見られた事は大変有効な学習方法であると感じた。しかし，一人一台端末そのものを活用したり，その他のアプリケーションを使いこなすにはそれなりのスキルが必要であり，時間的な余裕も必要である。

また，それらを授業と平行して指導する教員側のスキルも大変重要な要因であると思われる。